

令和4年度 第1回 伊豆市地域公共交通会議 議事要旨

日 時：令和4年7月20日（火）午後2時30分～

場 所：伊豆市役所 別館2階 大会議室

出席者：委員18名（欠席2名）

アドバイザー1名、他5名、事務局3名

1 開会挨拶

<会長挨拶>

新型コロナウイルス感染症が2年半も続き、鉄道や路線バス、観光バス、タクシー業者の皆様には引き続き大変厳しい状況を耐えていただいている。本会議の目的であるところの市民の足という観点からは、いかに公共交通を維持していくかということが未来に対する私たちの責任として、大きな課題になっているところ。

平成28年度から伊豆市生活交通ネットワーク形成計画を進めているところだが、路線バスではキャッシュレス決済を昨年度に導入し、利用率が5割になっているとのことなので、観光客も含めて利便性が高まっていけばと思っている。

それから、市職員による「エコ通勤推進デー」を8月から実施する。徒歩、自転車、路線バス等で月に1回通勤することを職員にお願いした。市職員も意識をもって公共交通を使うことに繋がればと思っている。また、市民の皆さんが報道等を見て、やっぱり自分たちでないと公共交通を残せないなという意識に繋がっていけばいいなと思っている。

2 議事

（1）地域公共交通会議の役割・市の公共交通の現状について

<資料説明>

- ・事務局より資料1、資料2について説明

<質疑応答>

- ・特になし

（2）戸田・土肥線の定期便（休止中）の退出について

<資料説明>

- ・沼津市役所より資料3について説明

<質疑応答>

- ・特になし

<議決>

- ・「異議なし」のため承認

（3）伊豆市生活交通ネットワーク形成計画推進事業について

令和3年度事業評価・令和4年度以降の事業計画について

<資料説明>

- ・事務局より資料4について説明

<質疑応答>

委員：資料4の目標達成状況の市自主運行バスの利用者数の現状維持・増加の部分で、令和2年は286,064人に対し、目標が37.5万人で約9万人もの差があるが、計画をたててそれが達成できなかった原因はどこにあるのか

事務局：一つは人口減少によるものと、新型コロナウイルスの影響がこの時はピークであったことから、かなりの数が減少しているものと思われる。令和4年度以降は目標値を新たに設定したことから、より一層取り組んでいきたいと考えている。

委員：令和4年度の計画において、数値目標が出ているが、それを遂行するにあたって、どのような対策を検討されているのか。

事務局：バスの乗り方教室の実施や、キャッシュレス決済の周知を行うとともに、補助制度を活用して高齢者や高校生を対象に利用の増加を目指したいと考えている。

アドバイザー：委員のご指摘は非常に重要と考えている。ただ数値目標を設定すればいいというわけではないので、一定の根拠とやっていきながら、舵取りをしていくということかと思う。今後、中学校再編等もあるので、利用者数も当然変わり得る。今年度、翌年度と、引き続き目標設定するかと思うのでそういうことも考慮しながら数値目標を目指していくということと思われる。

<議決>

- ・「異議なし」のため承認

3 その他

- ・次回会議は12月を予定し、次年度運行の協議、計画内容の協議を予定している。

以 上